



11時半には400食がまたたくまになくなる

『ありがとう!』

(社)神戸国際支縁機構  
石巻支所長

阿部捷一  
しやういち

「阪神淡路大震災の時の恩返しに来ました。」と軍手と長靴で、瓦礫の山に立ち向かう神戸の青年たち、いったいこの人たちは、何者なのだろうと驚きばかりでした。自分で旅費や食事代を負担して、1000km

渡波地区振興協議会(吉野雄一会長)主催の収穫祭「田・山・湾の復活」―渡波秋祭りが十一月四日に開かれた。渡波婦人会須田勝子会長率いる婦人会が入念な準備をされ、当日の鹿肉汁、牡蠣汁、海苔汁、おにぎりなど400食などの調理に腕をふるう。丹野一雄宮城県漁業協同組合委員長

ものの道りを東北の被災地までやって来るのです。考えてみれば、阪神淡路の震災を経験していない世代です。家族から聞かされていたのでしょうか。困っている人たちの、心の支えになりたいと行動する勇氣と目の輝きに心を打たれました。お金では買えない、尊い絆を被災地に生み出したのです。支縁の若者たち、導いてくれた代表の岩村先生に、心から、感謝いたします。

阿部勝渡波地域農業復興組合代表、阿部正春宮城県漁業青年団体連絡協議会会長が寛大に収穫物を提供。渡波獅子風流保存会津田富士義氏の演技の際、会長、鈴木健一石巻森林組合代表理事組合長、阿部清義大宮区長の三人が舞台上上がった。米谷富宏渡波支所長が「田・山・湾の復活」の祝辞を述べ、来賓席には、丹野清市会議員、木村製治沢田区長をはじめ、地域の区長たちが列席。南川鉄弥渡波事務長と、須田勝子さんの名司会で10時半から3時まで続く。小野寺脩館長による若返り体操、ひいらぎ会(尾形ヒサ子会長)、はねつこ踊り(遊美会

吉野八重子さんたち)に拍手。婦人会などの女性パワーによって宴が豊かな集いになる。亀山繁氏、樋口伸生住職夫妻や地元の記事たちも来会。阿部捷一氏の下に神戸からのボランティア20名(3名は船で海苔の収穫)は会場設定など裏方に徹する。提供する石鱈、洗剤がすぐになくなってしまったが、兵庫県からの毛糸靴下を手にして参加者は喜んだ。来年の秋祭も楽しみに、千葉幸一副会長が閉会をしめくくり、解散した。



万石浦幼稚園のよさこい踊り(北川禮子園長)

平成25年(2013年)11月14日(木曜日)  
石巻かほく

## 田・山・湾の恵み 味わい住民交流

神戸の団体  
復興支援 石巻・渡波地区で秋祭り

おにぎり、ノリカキ汁満喫

興がたっぷり入ったノリカキ汁が振る舞われた  
＝渡波公民館

石巻地方の田・山・湾の恵みを受け、渡波地区で月1回開催のペースで支援活動を行っている神戸国際支縁機構、食料提供、おにぎりの提供を受け、昨年に引き続き、渡波地区で秋祭りを開催した。渡波地区振興協議会(吉野雄一会長)が主催し、阿部捷一氏(阿部捷一氏)が代表として参加した。阿部氏は、渡波地区の復興支援活動について、渡波地区振興協議会(吉野雄一会長)の代表として参加した。阿部氏は、渡波地区の復興支援活動について、渡波地区振興協議会(吉野雄一会長)の代表として参加した。

石巻かほく 新聞記事



サルビア沿道

## 第28次 林業ボランティア

サッカー部はどうしても県大会で二位の屈辱を8年味わってききましたが、十一月十日、県選手権大会で名門作陽高を破り、  
**優勝！全国へ!!網地に**

東北ボランティアの厳しき、チームワークの意識が役立ったと山陽新聞などで注目されています。

## 岡山県玉野光南高校サッカー部 全国大会に勝ち残る

### — 東北勢と試合をするのは縁 —

第28次（八月一日～四日）に参加した玉野光南高等学校のサッカー部員三年生20名がJR朝霧駅前に集合。コンパクトに荷物をとめていきます。山足悠太君が事前に部員たちと立派なカラー刷りパンフレット冊子を作って、持ち物を用意していました。

途中のサービスイアではご飯がかわりできて34杯平らげたり、集合時間を厳守するきびきびした姿勢に励まされます。

被災地に入ると、パノラマのように広がる南浜町、門脇町に参加者は唖然とします。

体育会系のみんなも2年4ヵ月前の衝撃をフラッシュバックしているような面持ちです。自分たちはサッカーで協調精神があるけれど、天災に直面したら、一目散に我先に逃げるだろうか、それとも仲間を気づかうゆとりがあるだろうか、現実の厳しさをめいめいに想起させています。門脇小学校、魚町、長浜で、仲間との会話もとぎれます。

### 第26次が

取り組んだ田んぼアートを見に行きます。津田富士義、泰子ご夫妻が若者たちの元気の良さに目を白黒させています。船に乗っていた頃、入手した鯨の歯などを見て、高校生たちがドツと歓声をあげます。奥さんは植物栽培が得意であり、カサブランカの大輪が見事に咲いていました。



はだしになって、田んぼアートの雑草抜きをします。驚いたことに、用水でどこにもつながっていないにもかかわらず、アメーバなどがあることです。目を凝らしてみると、ヤゴ、貝、糸トンボもいます。コウノトリのデザインになってきています。近くを通る散歩の人たちも楽しんでいるようです。第27次で山本智也・村上裕隆事務局員が用意した「保田ぼかし」（無農薬、有機による乳酸菌こやし）が功を奏しています。昼、夜は地産地消のみやこの特大弁当です。

養殖班、沢田の沿道の手入れ、田んぼ、林業、傾聴ボランティアの5班に分かれます。

木村区長からは街道の桜芝の整備、阿部勝代表からは田んぼの雑草刈りが依頼されます。養殖班は南部武彦氏（46歳）が営む塩富町二丁目、海苔の網の修理作業をします。中塚啓太君の報告では、炎天下に20mの棚の上に網を載せ、端から端まで何度も走りながら作業します。体力がないとできま

せん。

林業班は、森林組合の山下俊一氏に案内変更で、大川小学校隣のバットの森に向かいます。釜谷西宮山の約0.3ヘクタールです。神戸から持参した鎌などで取り組みます。木村貞一氏（75歳）の説明に従い、大川小学校児童生徒が在学中に植樹したアオダモ、コナラ、クスギなど近くの下草を刈り取りです。傾斜が激しく、足場も悪く、10分もすると汗だらだらです。

大川小学校は3・11の際、74名の生徒、10名の教師が犠牲になりました。現在もまだ遺体捜索をしています。親御さんにとってあまりにも悲劇が大きかった地域です。植栽した苗を管理するボランティアにも力が入ります。

高校生たちは、作業を終えて、元気の湯でやっと入浴できる時も30分間のマラソン宿舎でも逆立ち歩行など鍛錬に余念がありません。どこにそんな力が残っているのかとあきれかえるほどです。

宿舎では、代表と指相撲をしたり、笑い声が絶えず、さわやかな真のスポーツマンたちでした。

十二月三十一日に宮城県と対戦するのも縁です。



炎天下、険しい急斜面で下草刈りの手入れをする  
玉野光南高校サッカー部員たち

株式会社 チュチュアンナ  
代表取締役社長

上田 利昭

tutu.anna™

MiYOSHI

ミヨシ石鹸株式会社

〒130-0021

東京都墨田区緑3-8-12

TEL 03-3634-1341



竹中工務店

www.takenaka.co.jp

新生田川共生会

（ホームレス自立支援の会）

TEL 078-392-0327

東日本大震災以降、  
神戸国際支縁機構に協力



## 傾聴ボランティア

無量寿庵住職の語り部 吉川 潤

午前6時半、約束していた樋口伸生氏が一行を迎えます。西光寺は800人の檀家の内、180人が犠牲になりました。樋口氏は渡波二丁目の無量寿庵の住職と門脇にある西光寺を兼ねています。前者は死者一名で現在復興の目処が立っていません。5000人が犠牲になった門脇(2000人)、南浜(3000人)の街全体が無人数区になった光景を前に、住職が墓、遺体、住民の生々しい被災体験を語ります。

「慢心していた人が亡くなった。家族の誰かが逃げようとしたら、『逃げなくていい』と言いつつ、自分だけが生き残ったりした方の衝撃は大きい。」「お父さん、これからどうするの」と尋ねると沈黙しています。「お父さんから、『悪かった』という言葉を引き出したんです」と、心に思っているだけではなく、あえて公然と謝ることを求めているのです。「お祈りして、一生を暮らしたい」と本人が言うのを待つのです。「お父さんだけが居残っちゃって、お母さん、お嬢さんたちはあつちの世界に行っちゃってしまっているけれど、お父さんのことは悪いとは思っていないから、自分は一生涯命を暮らすからあつちではお二人のことを仏さんにちゃんと守って暮らすようにお祈りするんですよ」と生きていく間、何となくを勧めます。「70、80だからあとどれほど生きられるかわからないんですが、これからの余生は茨の道だと覚悟させる」ことが自分の仕事です。

マスコミは日本人について偉い、立派だとか報道します。これほどになったら暴動が起こってもしようがないのに、ちゃんとルールを守って秩序を保っていると言いますが、「ウソです」。どろぼうはいたし、あちこちで一晩で金庫はなくなくなりました。盗難はいた



るところであつたし、スーパーストアはこじあけられて中からいろんなものをみんな持ち出していました。火を付けたりこそしませんでした。が、シャッターを破って、扉の鍵をこわして、店のモノをカートにいっぱい載せて駐車場を押しているおばあちゃんたちがたくさんいます。家内も目撃して、「それ、もらっているのですか」と尋ねると、「いいんじゃないの」と返事があったと言われ、夫婦でがく然としました。

母校門脇中学校で一か月間、2000人と共に避難生活していました。今は、みなし仮設住まいです。もう寺はだめだから、上京して葬儀屋さんの手伝いでもしようかと覚悟していました。避難所でも配給のパンを分けるとき、おいしいものだけ家族分の10個を即座に持って行こうとします。するとどれも欲しいもの、食べにくいものだけが毎回残ります。配給係がいただくことになり、それでも配給係はいいものを食べているとひそひそと言われたりします。震災は人の醜い心も露わにしました。

体育館で避難している時にも死者が出るという場面はどうしても出くわします。そこで同じように避難していた坊さんたちと共に遺体を茶毘に付すため、山形県、岩手県一関まで手分けして火葬場に手分けして同行します。一切のお金はいただかない方針です。おにぎりひとつ、オプシオンにチョコレートくらいで務めを引き受けます。今まで人が死んだら、お金のことでみんなに心配かけてきたから、恩返しというわけです。お墓も祈願もすべてただでやりました。陰徳を積みゆえに人に知られないように施すことが大事だけれど、被災地において無料でしていることを聞かないので、あえて言わしてもらおうと述べます。

あるお母さんの詩を紹介されました。

『ごめんね。』

「大事に使うんだよ」と言って、図書カードが残ったままだったね。

好きな本をいっぱい買ってやればよかった。

欲しいゲームがあつて、お年玉を数えてたね。

「少し足りないからもうちょっと貯めてから」と。

お母さん買ってあげればよかった。ごめんね。

「お母さんの命を掛けても守るから」と12年間言ってきたこと、守れなくてごめんね。

嘘ついてもいいのに、しゅうがいがないのに、お母さんが生きてごめんね。

代わってあげられなくてごめんね。守ってあげられなくてごめんね。

母



中谷雄野君朗読

この女性は、男の子の子ども二人と車で避難していた時に津波に流され、子ども二人が車の外に投げ出されました。波に揉まれて兄と弟が繋いでいた手が離れ「あんちゃん怖い」と言ったのを最後に泥水に吞まれてしまいました。母と兄が後に残され、自責の念に駆られ、現在も月命日毎にお寺にお参りして気持ちを整えて暮らされているといいます。

「病気で死ぬのはまだ死んでいく姿を見れるし、周りの人間が生きている意味を知ることができるが、震災で家族を亡くした人は、家族も家も思い出もみんなもぎ取られてしまい、心がバラバラになる。遺族の人が二年半がんばってきたことは、人前で涙を見せないことだ」と話されます。自身も被災しながらも、犠牲者の供養に奔走された住職の話は、厳しい現実ばかりでしたが、建物や町など見た目の復興はわかりやすいですが、人の心の中の復興は時間がかかり、被災地の人々はそんな思いをずっと持ち続けている二年半を過ごされていることを忘れないでおきたいと思っています。

(続く)



Humanity First

「ヒューマンティファスト」  
日本アハマディア・ムスリム協会

法律相談初回無料。  
お気軽にご相談下さい。

**宮永法律事務所**

みやながたかし 弁護士 宮永堯史  
まつだやすお 弁護士 松田康生

〒650-0016 神戸市中央区橋通1-2-14

**0120-997-181**

TEL 078-351-1325 FAX 078-351-1270

特定非営利活動法人

**みもぞ**

TEL 078-262-0460

医療・保健介護・  
福祉・教育に関する事業  
共生社会の実現

不動産 売買・賃貸・管理・店舗は

**本田商会**

〒662-0051 西宮市羽衣町5-23

電話：0798-38-7560

FAX：0798-38-7561

お気軽にご相談ください。

**ヤマザキ**

**世界のパン  
ヤマザキ**

KINSAN

夢に近づく  
夢を産み出す...

**近畿産業信用組合**

総合コールセンター

**0120-111-019**

福島県の放射能、被曝、移住などに  
ついて、マスコミはとりあげますが、岩  
手県、宮城県の復旧、復興、再建がぜん  
ぜんすすんでいないことについては忘れ  
去られようとしています。  
ちょうど、第31次の時、石巻市も台  
風18号の暴風雨でした。サントレビの取  
材班が同行し、機構の小さな働きを放映。  
報道や他の協力団体がとりあげてくださ  
るので、機構の参加者もゼロでなく、続  
けられています。



**まだできるボランティア**

**被災地支援 汗かく夏**

恒聴清

4. ボランティア活動を支援する団体  
 恒聴清の事務所 078-762-9601  
 社会福祉学舎 078-914-4321 (小倉)  
 NPO市民センター 0896-33-5566  
 大津市水・緑・土壌センター 072-770-6300  
 市民会館 078-574-0701  
 ボランティアセンター 080-1429-2471  
 大津市社会福祉協議会 078-21-0501



「田んぼアート」の前で (第29次)

## 感謝

玉の肌石鯨株式会社輸送用車輦としてハイエース9人乗り+1名を贈呈くださいました。三木晴雄取締役社長に謝意を申し上げます。第34次から用いさせていただきます。

## ご協力感谢您します。2013年7月20日～10月30日

酒巻喜代香、朝比奈恵子、岩村義雄、山下妙子、柴田正生、保田薫、飛田雄一、清野貴幸、森一郎、鈴木淳之介、飯原洋子、格和彦、井上則子、水野雄二、落合公江、酒井彰(3)、酒井久美子、宮本要太郎、第4回世界宗教者平和講演会、高嶋俊男、ゲーベルひでみ、清水富士雄、日野謙一、岡崎孝、春名純人、西上千栄子、恩田怜、石田朝子、溝口直志、小野寺脩、長濱啓、格和彦(3)、木村製治、千葉幸一、三浦照子、白方誠彌、村田充八、尾形ヒサ子、宗教倫理学会、玉の肌石鯨株式会社、毛藤智夫、西佑華、山内一郎、佐谷文子、野田和人、松田エツ子、安立昇、塩屋キリスト教会、杉山紀之、川尻ユキエ、山足悠太、KISO牧場、山本智也、山本勝、中道澄香、みんなで「死」を考える会、富岡修平、垂水福音教会、神戸国際キリスト教会 合計 4,420,628円

### 収穫祭の支縁ありがとうございました。

ミヨシ石鯨株式会社、ひびき福祉会、高円寺、西尾竜子、小島芙美子、藤丸秀澄、藤木智代

## 編集後記

若者が神戸や他の地域から東北に出かけるのに毎月応募してくださるのは感謝です。若い参加者の中にはウォッシュレット、携帯、清潔さなど現代の便利ツールが使えるかどうか問い合わせてきます。普段、生活の中で何もしなかった者が、電気がない、携帯が通じにくい、食物がぜいたくできないそんなボランティア生活に溶け込むのです。養殖や、稲の「稲架掛け」ではひもをきちんと結ぶ、のこぎりで竹を切るなどはじめてです。宿舎では、早朝から掃除をします。江川文晴(第29次)さんは「きれいに残して立ち去る」をモットーにしましうと提案しました。ぞうきんを固くしぼる、同じ面でふかない、ほこりやちりは隅にたまるので、掃除機のヘッドを外して、物を移動しながら掃除機をかける、ごみを持って帰ることなども皆さん、生まれてはじめてのことです。孤立死、孤独、無気力な人たちに接したせいでしょうか、黙々と取り組みます。文化的機器、便利グッズ、ぜいたくを忘れて、昔ながらの農具、漁師の網、炭焼きなど先人たちの知恵に触れ、「田・山・湾の復活」はそんな楽しいところから実現していくと信じます。 山本智也

## 訃報

当機構の恩人であるお二人が逝去なさいました。慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

機構に震災直後からご指導、応援してくださっている新生田川共生会の有川善雄代表の葬儀が7月1日に行われました。11月2日、菅原洗人画伯が91歳で逝去されました。機構の代表は第33次から直接、葬儀に出席しました。続いて、天から見守ってくださっていることを確信しています。残されました夫人有川純子さん、菅原志子さんの上に慰めがありますように。

## (社)神戸国際支縁機構

### ●ボランティアや移住者募集中

毎月、被災地へ赴きます。農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。詳細はホームページ。

### ●被災地への支援物資もお願いします。

### ●年会費をお願いします。

会員(年度4月～翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。

### フィリピン災害緊急募金お願いします。

神戸国際支縁機構は、2001年に中東支援であるアフガニスタン、イラン、イラクの難民のために立ち上がりました。ハイチ、チリ、スマトラ、朝鮮民主主義人民共和国、中国などにも訪問したり、支援のために仕えてきました。たいしたことができなくても、地球のコミュニティの一員であることを忘れないように心がけています。

フィリピンの被災を解決するには、机の上だけでは進展しません。だれかが行動しなければなりません。勇気をもって参加する青年を歓迎します。義援金をお願いします。

事務局長 本田 寿久

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口 2,000円/1年  
賛助会員は、一口 5,000円/1年

### ●郵便振替 口座 00900-8-58077

加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

### ●三菱東京UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863  
神戸国際支縁機構 岩村義雄

フィリピン災害緊急募金には必ず『フィリピン』と書き添えてください。